



いずみ野

令和元年5月31日
横浜市立いずみ野小学校

心に残る運動会

校長 松藤 朋治

5月25日(土)に開催した第42回いずみ野小学校運動会。

直前に地域より児童席へのテント貸し出しの話をいただき、跳び付くようにお願いしました。当日は天気予報的中の猛暑と強い日差しでしたが、おかげさまで子供たちは熱中症にかかることもなく、運動会を挙行することができました。子供たちはテントによる日陰の恩恵を受けた結果、自分の参加種目に全力で取り組んだり、他の競技をカー杯応援したりすることができた



▲ 心のこもった全力の演技。

ようです。早朝よりテント張りまでしていただきました地域の皆様はじめサポーターズ等々のご厚情に、深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、今年度は10連休明けからの短期間で練習を行いました。天候不順の日もあり限られた日程での練習となってしまいましたが、どの学年も精一杯練習を積み上げてきました。練習の経緯から私は自ずと演技の仕上がりを気にしながら本番を参観したわけですが、どの学年も**全力**で演技を発表していました。低学年のダンスでは、元気満点の伸びやかな姿に加え見事な直線隊列に驚かされました。中学年のソーランでは、威勢のよい掛け声と気迫あふれる動きに漁師魂を彷彿とさせる趣を感じました。高学年の一糸乱れぬ演技では、皆で心を一つに表現しようという協働性あふれる集団美に感動しました。もちろん、そのほかの競技に臨む姿勢も素晴らしかったことは言うまでもありません。

閉会式でPTA会長が「感動した!」と述べてくださいましたが、私も感動を覚えました。きっと、感動の源に“**全力で走る、全力で踊る、全力で応援する**”といったいずみ野小学校の子供ならではの姿があったからに違いありません。そして、そういう子供像が成立したのは、ご家族の皆様による**全力**での声援や温かい拍手、前述のような地域の皆様によるサポートのおかげです。まさに、本校の運動会は学校と家庭と地域が連携・協力して創り上げている、と言っても過言ではありません。



▲ 子供たちの喜びの笑顔と歓声。

いつの日か、子供たちが小学校時代の運動会を回顧する日がやってくることでしょう。そのとき、子供たちが**全力**で取り組めたことの一つ一つが、「こころのふるさと」になることでしょう。

子供たちが**全力**で取り組めるような魅力あふれる運動会にしてください、熱くお礼申し上げます。このような、皆の心に残る運動会が末永く続けられますことを、願ってやみません。